

科目名 ナンバリングコード	看護管理 NUS3195MN7	必修科目	4年次 1学期	講義	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 森本 紀巳子				
科目担当者	大学病院看護部 國武 栄子、川野 佐由里 大学病院医療安全管理部 早川 晴美 医療センター看護部 毛利 総代				
教育目標 到達目標	教育目標 看護専門職として必要な看護サービスの管理システムならびに医療安全と質の保証のための看護システムと管理の知識と技術について修得する。 到達目標 1) 看護サービスの管理システムと看護管理の原則について説明することができる。 2) 看護職能団体における看護倫理と社会的責任について説明することができる。 3) 組織・チームにおけるリーダーシップと自己の役割・能力を発揮・拡大できる方法を説明することができる。 4) 医療安全・危機管理（リスクマネジメント、医療事故、感染予防対策など）について説明することができる。 5) 看護管理上の問題をとらえ、問題を解決する方策を理解し検討し説明することができる。 6) 看護ケアの拡大及び看護の質向上を図るため、専門性と実践能力を高める方法と果たす役割について説明することができる。				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回	1) 看護管理の基本となるもの 看護管理の変遷、看護管理の目的、看護管理者に期待される役割	森本【講義】	既習の授業・実習時資料や文献等にて予習  第1～7回までの復習: 毎回、授業後にレポート提出。	毎回: 予習 30分・ 復習 30分	
第2回	2) 看護管理の基礎 組織・人材資源管理・リーダーシップ、医療経済と看護サービス管理、労務管理、情報管理、看護倫理	國武【講義】			
第3回	3) 病棟における看護管理の実際 チームにおける看護の役割、目標管理、業務改善、物品管理、人材育成	毛利【講義】			
第4回	4) 医療安全と管理・リスクマネジメント インシデントレポートと事故防止対策、ヒューマンエラーの対策、多職種連携による組織的取り組みと対策	早川【講義】			
第5回	5) 感染制御における看護管理とチーム医療、グローバルヘルスケア	川野【講義】			
第6回	6) 看護管理者に求められる能力 看護マネジメントスキル、コミュニケーションスキル	森本【講義】			
第7回	7) 看護職とキャリア 看護の教育体制、キャリア開発と継続教育	森本【講義】			
第8回	8) 看護と経営、制度 医療と経済、看護に関わる医療・介護制度、看護管理に関する法律	森本【講義】			
テキスト	必要時、資料を配布する。				
参考書	看護管理概説, 日看協出版会, ナーシング・グラフィカ看護管理, メディカ出版 等を参照				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
試験 (80%) 出席状況・態度 (20%)	・到達目標の達成度を定期試験の正答率で評価する。 ・講義の出席および講義態度・レポートをポイント化して評価する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック	必要時レポート課題を課し、評価後に返却する。				

科目名 ナンバリングコード	看護総合演習 NUS4299MN7	必修科目	4年次 2学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 原 頼子				
科目担当者	医学部看護学科 舞弓 京子、加悦 美恵、桐明 あゆみ、佐藤 祐佳、椛 勇三郎、跡上 富美、加藤 陽子、草場 知子、*河原田 康貴、*姫野 深雪、福浦 善友、渡邊 理恵、藤好 貴子、*孫田 千恵、前野 里子、*宮本 いずみ、水落 裕美、三次 貴大、岡村 光子、永田 真理子、新 裕紀子、松島 亜希子、*山田 泰子、他専任教員 * 主担当者				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 看護総合演習では、看護実践能力の向上を目指し、臨地実習で未履修の技術及び身体侵襲を伴う技術について自己の課題を明確にし、演習を行なう。</p> <p>2) 自らの看護技術を向上させるための学習方法を見出し、生涯自己研鑽を続けることの必要性を再認識し、看護を追求する態度を育成する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 技術の水準レベルを踏まえ、現在の自己看護技術を振り返り、課題を明確に述べることができる。</p> <p>2) 事例のアセスメントから、優先順位や安全に留意した援助計画を立案し、シミュレーションやロールプレイにつなげることができる。</p> <p>3) 根拠に基づき、看護技術を選択し、技術を統合させ、過程を踏みながら的確に実践することができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	<p>ガイダンス</p> <p>2回から9回について グループに分かれ1)～3)の演習を実施する。</p> <p>1) 呼吸・循環を整える技術(口腔内・気管内吸引)</p> <p>2) 薬物療法の技術(末梢静脈路確保及び輸液の管理)</p> <p>3) 事例のアセスメント、看護問題の明確化、実施計画立案</p> <p>10回から12回について 事例患者に必要な教育支援について検討し、ロールプレイにつなげる</p> <p>13回から15回について 患者の状態に合わせて、的確に看護技術を選択し実践・評価する統合能力獲得のためのロールプレイと振り返りを実施する</p>	専任教員が担当となり、各自の担当講義・演習を実施する。 【講義・演習】	<p>1) 課題の明確化、授業全体に対する準備ポータルサイトに基つき、4年間の実習(技術項目)の振り返りを行い、自己の課題を明確化する。</p> <p>2) 事前学習、練習技術項目に関する学習および技術練習を行う。(実習室及びクリニカルスキル・トレーニング・センターを利用できる)</p> <p>3) 復習レポートや実施した技術内容の振り返りを行う。</p>	各演習 前後 30分	
テキスト	特定しないが、参考資料を配布する。				
参考書	阿曾洋子、井上智子、氏家幸子：基礎看護技術 第7版、医学書院 三上れつ、小松万喜子：基礎看護技術、ヌーヴェルヒロカワ ナーシングスキル (Web) : <a href="https://nursingskills.jp/">https://nursingskills.jp/</a>				
成績評価					
方法(割合)	基準				
演習内容の自己評価・他者評価、小テスト、課題、レポート内容(90%)と出席態度(10%)	原則として2/3以上の出席がないと合格しない、講義・演習への遅刻の場合は減点する。技術チェック、統合技術内容の自己評価と学生同士での他者評価、小テスト、提出物、参加態度等をすべて合計して評価する。				
課題(レポート等)に対するフィードバック	課題や技術内容に関しては、毎回まとめ時にフィードバックを行う。				

科目名 ナンバリングコード	がん看護学 NUS3196MN8	選択科目	4年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 原 頼子				
科目担当者	医学部看護学科 姫野 深雪 大学病院看護部 副枝 恵美				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) がんに関する最新の知識を身につけ、がんと共に生きる人やその家族に対する理解を深め、今後のがん看護について探求する。</p> <p>2) 事例の展開を通し、倫理的態度、死生観を養う。</p> <p>到達目標</p> <p>1) グループで実習や授業での学びを振り返り、事例演習を通し、がん患者における様々な状況における具体的な援助方法を述べるができる。</p> <p>2) がんに関する最新の知識や文献を通し、学びあうことで、看護者としての知識を深めることができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回	がん看護の概念 がん患者の特徴、治療（ゲノム）の理解、がん看護に適用される理論とモデル（セルフマネジメント、自己効力など）	原【講義】	1) 予習 今まで授業や実習で使用した、がんや終末期医療に関する文献や資料を再読する。 2) 復習 講義資料の振り返り	毎回 30分	
第2回	最新のがん治療と症状マネジメント1 化学治療（分子標的薬治療含む）	姫野【講義】			
第3回	最新のがん治療と症状マネジメント2 放射線治療（粒子線治療含む）	副枝【講義】			
第4回	がん看護における倫理調整	姫野【講義】			
第5・6回	がん看護の専門性1 倫理カンファレンス演習	原・姫野【演習】			
第7回	がん看護の専門性2 補完・代替療法、AYA世代の特徴と援助、多職種によるチームアプローチ	原【講義】			
第8回	これからのがん看護に必要なこと 成人期がん患者の特徴と援助、就労支援	原【講義】			
テキスト	鈴木久美、林直子、佐藤まゆみ 看護学テキストNICE がん看護 2021 南江堂				
参考書	大西和子・飯野京子編集：がん看護学、ヌーヴェルヒロカワ 2016				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験・レポート（90%）	到達目標への達成度を正答率で評価する。				
受講態度（10%）	演習の課題達成度は、出席状況、レポート提出の有無、記載された内容を評価する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	内容については授業中にフィードバックし、各自での振り返りを行う。				

科目名 ナンバリングコード	多職種連携教育 NUS3285MN7	必修科目	4年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 古村 美津代				
科目担当者	医学部看護学科 医療センター医療連携推進室 大学病院看護部	益守 かづき、綾部 光芳、姫野 深雪、渡邊 理恵、福浦 善友 丸山 紀子 物部 千穂、西村 知子、平塚 奈希			
教育目標 到達目標	<p>教育目標 地域社会の変化に伴う保健・医療・福祉の動向を踏まえ、専門職連携の重要性と看護職の果たす役割について理解する。</p> <p>到達目標 1) 多職種連携における専門職のそれぞれの専門性と役割について説明することができる。 2) 多職種連携における専門職の連携と協働の重要性について説明することができる。 3) 多職種連携コンピテンシーについて説明できる。 4) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ多職種連携の中で看護職に求められる役割や責務について説明することができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要 時間	
第1回 第2回	地域社会の動向と専門職連携の重要性 専門職連携について 医看合同グループワーク	古村【講義】 古村・益守・綾部・姫野・ 渡邊・福浦【演習】	講義 復習 予習 事前課題	20分 60分	
第3回 第4回 第5回 第6回	各事例（成人・高齢者・精神・小児）についてグループワーク（①情報の分析と整理 ②他職種との連携と看護師の役割について） 第3回 高齢者の退院調整 第4回 がん患者の退院調整 第5回 精神に障害のある人の事例 第6回 小児の事例 各グループワーク終了後、各事例の学びのレポート提出	古村・益守・綾部・姫野・ 渡邊・福浦【演習】	各事例についての病態・社会資源について予習60分 各事例についての復讐60分 レポート提出 課題1 高齢者 課題2 がん患者 課題3 精神 課題4 小児	30分 60分 60分 60分	
第7・8回	多職種連携と看護職の役割について 発表とまとめ（各事例）	丸山・西村・物部・平塚・ 栗屋（久留米東包括支援センター） 古村・益守・綾部・姫野・ 渡邊・福浦【演習】	課題5- レポート提出 「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割」	60分	
テキスト	必要時、資料を配布する。事例検討の際、必要な教科書・参考書、資料・文献等を持参し参考にする。				
参考書	田村由美：新しいチーム医療 看護とインタープロフェSSIONナル・ワーク入門、看護の科学社、2012				
成績評価					
方法（割合）	基準				
試験（50%） レポート・参加状況（50%）	<ul style="list-style-type: none"> <li>到達目標の達成度を知識・思考・判断力など定期試験の正答率で評価する。</li> <li>レポート（課題1～5）で評価する。</li> <li>講義・演習の出席および参加状況（積極性・意見・質問など貢献度）を評価する。</li> </ul>				
課題（レポート等）に対するフィードバック	課題レポート：一部は採点し返却する。				

科目名 ナンバリングコード	最先端の医療と看護 NUS3197MN8	選択科目	4年次 1学期	講義	1単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 綾部 光芳				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 我が国で行われている最新の診断法や治療法について講義する。</li> <li>2) 特に治療方法は多岐に亘り、日々変化（進歩）していることを伝える。</li> <li>3) 卒業後も常に新しい医療知識を習得する努力が必要であることを理解してもらう。</li> </ol> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 先端医療の概要、診療ガイドラインについて説明できる。</li> <li>2) 先端医療における倫理課題と支援の必要性を理解できる。</li> <li>3) 先端医療を受ける患者・家族の特徴を理解し、看護の方法・看護のあり方を説明できる。</li> <li>4) 先端医療に関わる多職種との連携方法について説明できる。</li> </ol>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回	先端医療の概要、診療ガイドライン	綾部【講義】	配布資料（シラバスにも掲載）にて予習・復習を行う。	30分	
第2回	心不全（高血圧症、虚血性心疾患、弁膜症）	綾部【講義】		30分	
第3回	腎不全（慢性腎疾患、腎透析）	綾部【講義】		30分	
第4回	糖尿病	綾部【講義】		30分	
第5回	がん（がん化学療法、がん放射線療法）	綾部【講義】		30分	
第6回	脳卒中、認知症、パーキンソン病	綾部【講義】		30分	
第7回	出生前診断、生殖補助医療、遺伝子カウンセリング	綾部【講義】		30分	
第8回	遺伝子治療、再生医療、臓器移植	綾部【講義】		30分	
テキスト	講義資料を配布する（電子シラバスにも掲載）				
参考書	特になし				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（60%） レポート（40%）	到達目標に対する達成度を、試験問題に対する正答率で評価する。 授業ごとに課題を提示し、レポートの提出を課す。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	採点后、必要に応じてフィードバックする。				

科目名 ナンバリングコード	地域看護管理論 PHN3114MN8	選択科目	4年次 1学期	講義	2単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 重松 由佳子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>地域のニーズや特性に合わせた地域ケアマネジメントである公衆衛生看護管理について理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 公衆衛生看護管理の理念、目的、対象と方法、看護管理の機能について説明することができる。</p> <p>2) 健康危機管理時に必要な公衆衛生看護管理について説明することができる。</p> <p>3) 地域ケアシステムと地域ケアコーディネートとの必要性と構築活動について事例を踏まえて説明することができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回	公衆衛生看護管理の理念・目的・機能、保健師の役割、 統括保健師、マネジメント、リーダーシップ	重松【講義】	シラバスを確認	講義前： テキスト を読み (20-30 分)、疑問 点を明ら かにし臨 む。終了 後：15-20 分用語の 復習をし て知識を 确实す る。	
第2回	地区管理・情報管理・組織運営管理・事業業務管理	重松【講義】	公衆衛生看護管理構成要素		
第3回	事例管理、予算編成・予算管理、人事管理人材育成	重松【講義】	公衆衛生看護管理構成要素		
第4回	健康危機管理	重松【講義】	防災・災害時の保健活動		
第5回	地域の強みを高める技術1	重松【講義】	事例検討		
第6回	地域の強みを高める技術2	重松【講義】	事例検討		
第7回	地域の強みを高める技術3	重松【講義】	事例検討		
第8回	事例管理の実際：児童虐待のリスクマネジメント	重松【講義】	児童虐待防止		
第9回	事例管理の実際：結核のリスクマネジメント	重松【講義】	結核感染予防対策		
第10回	事例管理の実際：感染症のリスクマネジメント	重松【講義】	感染症予防対策		
第11回	事例管理の実際：精神障害者のリスクマネジメント	重松【講義】	精神障害者への地域支援		
第12回	健康危機管理体制・リスクコミュニケーション	重松【講義】	災害時の支援		
第13回	保健所の地域看護管理1	重松【講義】	保健所管轄市町村の特性		
第14回	保健所の地域看護管理2	重松【講義】	保健所管轄市町村の特性		
第15回	保健所の地域看護管理3	重松【講義】	保健所管轄市町村の特性		
テキスト	なし				
参考書	<p>標準保健師講座① 公衆衛生看護学概論 医学書院</p> <p>平野かよ子 編：最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論、メヂカルフレンド社</p> <p>井伊久美子 編：保健師業務要覧：日本看護協会出版会、最新版</p> <p>岡本玲子 編：公衆衛生看護活動I 医歯薬出版株式会社</p> <p>国民衛生の動向</p> <p>岡本玲子 編：地域の強みを高める公衆衛生看護技術 医歯薬出版株式会社</p>				
成績評価					
方法（割合）	基準				
定期試験（70%） 受講態度（30%）	<p>到達目標の到達度を正答率と筆記で評価する。</p> <p>公衆衛生看護管理の中で何を管理していく必要があるのか・保健所管轄市町村の特性を把握しているのかを評価する。</p>				
課題（レポート等）に対するフィードバック	第15回にレポートの全体的な講評を行い、返却はしない。				